

キッズカルチャークラブ(木工作クラブ)

【概要】

完全学校週5日制の実施に伴い、土曜日の休日に実施される団体・サークル主催の創作体験教室の開催を奨励・援助し、子どもたちのものづくりならびに文化活動の体験機会と健全な遊びの空間を提供するとともに、マナビティーセンターを利用する方々の参画による施設運営の充実を図ることを目的として開催しています。

【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】

平成4年9月から実施された学校週5日制に伴う第2・第4土曜日の休日に合わせ、教育委員会では美幌町文化連盟に加盟する団体並びにコミュニティセンター(社会教育課が所管していた)利用サークルに、青少年教室の開催を呼びかけてきました。平成14年度から完全学校週5日制が導入されたことに伴い、上記概要のとおりですが実施をしています。

【活動・取組の特徴】

主催は、クラブを開催するサークル団体とし、教育委員会・自治会青少年部連合会が共同で事業の運営にあたっています。

具体的内容

期待できる効果 (自己評価)

| | | | |
|-----------------|--|-------------------|--|
| 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める | |
| 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る | |
| 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる | |
| 生命と自分とのつながりに気づく | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ | |
| その他() | | その他() | |

取組主体

企画者または主催者名

主催：美幌町教育委員会 主管：クラブ担当各サークル

参加者(参集範囲)

乳幼児 / 未就学児童 / 小・中学生
大人(高校生以上) / 高齢者 / その他()

参加者の募集

あ る / な し
びほろっ子プレイガイド等への記事掲載

HPアドレス・連絡先(担当者)

美幌町教育委員会 社会教育グループ 社会教育担当(野村)
TEL:0152-72-2300
FAX:0152-73-4420
E-mail:manasen@town.bihoro.hokkaido.jp

サークル開設講座「森の大工さん（木工）教室」

| | | | | |
|-----------------|--|--|------------------|-------------------|
| 具体的内容 | <p>【概要】 夏休み期間中における自由研究の創作体験の機会として、端材や流木など自然にある素材を使った木工作品を子どもたちの自由な発想で作り、子どもたちの創作意欲を養うと同時に、道具の使い方等を理解してもらうことを目的として開催しています。</p> <p>【実績】 平成18年度実績（平成18年8月5日、6日に開催） 8月5日19名　6日6名　延べ参加人数25名</p> <p>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】 標記講座の主管となっていた「ふるさと美幌の自然と語る会」では、びほろふるさとまつりにおいて、「森の大工さん」と題して、子どもたちに自由な発想で作品を作り上げる木工体験の場を提供していますが、平成16年度から、夏休み中に開催してほしい旨の要望を受けてきていたことから、マナビティーセンターの講座として開催することができないだろうかという相談がありました。 上記の経過から、平成16年度より子どもたちを対象として子どもたちが木に触れることをとおして創造力を高める機会として夏休み中に開催することとなり、現在に至っています。</p> <p>【活動・取組の特徴】 子どもたちが作り上げる木工作品は、これといった見本や手本はありません。あくまで講座が始まってから、子どもたちの頭で考え、自由な発想で作りに上げていくものなので、何が完成するかは終盤になるまでわかりません。</p> | | | |
| | 期待できる効果 (自己評価) | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る |
| | | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる |
| 生命と自分とのつながりに気づく | | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ | |
| その他() | | | その他() | |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | 主催：美幌町教育委員会　　主管：ふるさと美幌の自然と語る会 | | |
| | 参加者（参集範囲） | 乳幼児 / 未就学児童 / <input checked="" type="checkbox"/> 小・中学生 大人（高校生以上） / 高齢者 / その他() | | |
| 参加者の募集 | | <input checked="" type="checkbox"/> あ る / な し 広報に掲載 | | |
| HPアドレス・連絡先（担当者） | | 美幌町教育委員会 社会教育グループ 社会教育担当（野村） TEL：0152-72-2300 FAX：0152-73-4420 E-mail：manasen@town.bihoro.hokkaido.jp | | |

まるせつ観光まつり「キタモク ちびっこトンカチ教室」

| | | | | |
|-----------------|--|---|------------------|-------------------|
| 具体的内容 | <p>【概要】</p> <p>「森林・清流・SL」をイベント全体の主テーマとし、例年8月第1土曜日及び日曜日に開催される「まるせつ観光まつり」の恒例イベントとして実施されています。このイベントは、北見木材㈱で「ピアノ」の部材作成に用いられる、アカエゾ松のムク材を使ったオリジナル工作キットを使用し、イベントに訪れた親子連れや夏休みを迎えた児童・生徒を対象に木工体験活動に取り組んでいます。</p> <p>平成18年8月5日から6日に開催された「第24回まるせつ観光まつり」では、「キタモクちびっこトンカチ教室」ブース内において「木育」をテーマにした木製玩具等の展示スペースをはじめ設置し、幅広い世代が木製玩具での遊びを通じ「木育」に対する理解を深める良い機会としてイベントを有効活用しています。</p> <p>【実績】</p> <p>「まるせつ観光まつり」への参加協力（地域イベント参画活動） 「オホーツク木のフェスティバル」への参加協力 その他（幼稚園や保育所、学校施設等への受注販売）</p> <p>【活動・取組の特徴】</p> <p>「キタモクちびっこトンカチ教室」では、「木の温もりの大切さ」を基本コンセプトに「ピアノ」の楽器材（響鳴板など）として用いられる丸瀬布産「アカエゾ松」を加工した「肌に触れても安心できる良質材」を提供しています。</p> <p>また、誰でも気軽に木工体験を楽しんでもらうために職員自らが指導者として関わり、組み立て方から遊び方までを指導しています。「木のプロフェッショナル」と一般の方々との交流はイベント内容の付加価値を高め、参加者からも好評を得ているところです。</p> <p>イベントを通じた「木育」の取り組みとして「親しみの持てる商品」をテーマに専属デザイナーによる「木の温かみ」を印象付けるデザインと、乳幼児や幼児が安心して触れることのできる規格（サイズ）や材質を研究し一般向けに提供をしています。</p> | | | |
| | 期待できる効果（自己評価） | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る | |
| | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる | |
| | 生命と自分とのつながりに気づく | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ | |
| | その他（家庭教育力の向上） | | その他（ ） | |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | まるせつ観光まつり実行委員会 | | |
| | 参加者（参集範囲） | 乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人（高校生以上） / <input type="checkbox"/> 高齢者 / その他（ ） | | |
| 参加者の募集 | <input type="checkbox"/> あ る / な し 「まるせつ観光まつり」開催期間中における自由参加です。 但し、参加料（材料代）が必要となります。 | | | |
| HPアドレス・連絡先（担当者） | 「まるせつ観光まつり」実行委員会事務局 遠軽町丸瀬布総合支所 産業課（商工観光担当） TEL：0158-47-2213 FAX：0158-47-2128 （E-mail）m-sangyou@engaru.jp （URL）http://engaru.jp/ | | | |



まるせっぷ観光まつり

「キタモクちびっこトンカチ教室」

「キタモクちびっこトンカチ教室」全景



職員による実技指導風景



職員による実技指導風景



「木育」玩具展示ブース（利用風景）

ウッディスクール

| | | | |
|-----------------|---|--|---|
| 具体的内容 | <p>【概要】</p> <p>「ウッディスクール」は、村の豊かな自然のなかで「木のおもちゃ」づくりを親子で体験してもらおうと共に、都市圏の人々と村民の交流をとおして地域の活性化を目指すことを目的に、平成6年から開催しています。当初は夏だけの開催でしたが、平成9年度からは冬も開催し、さらに平成13年度からは秋にも開催するようになりました。現在は夏・秋・冬の年3回の「ウッディスクール」を開催するまでに発展してきました。このスクールには毎年道内はもとより、大阪、東京、群馬など文字どおり全国から参加者を迎えています。</p> <p>【実績】</p> <p>H6～H18：「ウッディ・サマースクール」 2泊3日 のべ参加者 728人 318組 H9～H17：「ウッディ・ウインタースクール」20時間 のべ参加者 271人 148組 H13～H17：「ウッディ・オータムスクール」20時間 のべ参加者 87人 85組 合計 1,086人 550組</p> <p>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】</p> <p>平成5年、西興部村は新山村振興農林漁業対策事業の指定を受けた。同年にスタートした第2次西興部村総合計画の推進項目の一つに「体験と交流をとおした村づくり」が掲げられたこともあり、同事業の柱である「体験と交流の里」構想の中核施設として、ホテル「森夢」とともに、山村である村の特性を生かした森の美術館「木夢」の建設構想が位置付けられた。「木夢」の建設にあたっては、北見市留辺蘂在住の木のおもちゃ作家・伊藤英二氏の全面的な協力を得ることができ、同館が平成9年4月に開館すると同時に、館長に就任していただいた。</p> <p>また、新山村振興農林漁業対策事業は「体験と交流」のソフト事業の実施を必須条件としていたことから、夏休みに首都圏の親子を招へいし、「木のおもちゃ」をつくりながら村の自然を体験してもらうことを内容とする2泊3日のウッディ・サマースクールを平成6年から開催することとした。</p> <p>【活動・取組の特徴】</p> <p>親子又はおじいちゃん・おばあちゃんとお孫さんが、温もりのある木の感触や香りに触れながら「木のおもちゃ」をつくり、五感や創造性を高めると共に、さらにスタッフや参加者動どうしによる交流をとおして村と都市住民との交流がはかられている。</p> | | |
| | 期待できる効果 (自己評価) | <p>五感や創造性を高める</p> <p>協調性や社会性を育む</p> <p>運動能力の発達を促す</p> <p>生命と自分とのつながりに気づく</p> <p>その他()</p> | <p>森や木に関する知識をつける・高める</p> <p>森や木を通じた地域の活性化を図る</p> <p>木の文化や技術を伝える・つくる</p> <p>つくり手・買い手・使い手をつなぐ</p> <p>その他()</p> |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | ウッディスクール実行委員会(森の美術館「木夢」) | |
| | 参加者(参集範囲) | 未就学児童 / 小・中学生 / 大人(高校生以上) / 高齢者 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他() | |
| 参加者の募集 | あ る / な し | | |
| HPアドレス・連絡先(担当者) | 森の美術館「木夢」(〒098-1501 紋別郡西興部村字西興部 276 番地) TEL: 0158-87-2600 URL: http://www.vill.nishikokope.hokkaido.jp/office/komu/komu.htm | | |

ウッディスクールの様子



木工・端材教室の開催

| | | | |
|-------------------|--|--|-------------------|
| 具体的内容 | <p>【概要】 オホーツク木のプラザでは、平成8年度から、木工教室・端材広場を開催しております。木工教室は、製作する物が決まっておりますが、端材広場では、端材を有効活用し、参加者の創意工夫で、様々な商品を自ら作製することにより感性を磨き、新しい商品展開も期待されることから、毎年続けてきております。</p> | | |
| | <p>【実績】 平成17年度 6回開催 116人参加 平成16年度 3回開催 56人参加 平成15年度 7回開催 85人参加</p> | | |
| | <p>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】 市内では、木工体験が出来る施設がなく、市外にて、木工体験を行っている人々が多く、市民からの要望もあり、また小さい頃から木工に慣れ親しむことにより、木の良さを理解してもらおう意味もあり行って来た。</p> | | |
| | <p>【活動・取組の特徴】 毎回木工教室等は、季節毎の商品の作製等、参加者に飽きさせない取組を行って来ている。また、端材広場では、参加者自らの考えのもと、自由な発想にて様々な商品が作られるので、一般の商品へのデザインの活用等にも参考になる</p> | | |
| 期待できる効果 (自己評価) | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る |
| | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる |
| | 生命と自分とのつながりに気づく | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ |
| | その他() | | その他() |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | 社団法人オホーツク森林産業振興協会 | |
| | 参加者(参集範囲) | 乳幼児 / 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / <input type="checkbox"/> 高齢者 / その他() | |
| 参加者の募集 | <input type="checkbox"/> あ <input type="checkbox"/> る / な し 経済の伝書鳩(地元紙)への広告掲載、各種新聞社記事にて紹介 | | |
| HPアドレス・連絡先(担当者) | 社団法人オホーツク森林産業振興協会 TEL 0157-25-1331 FAX 0157-25-1332 E-mail woodplaza@owp.or.jp URL http://www.owp.or.jp | | |

木工教室



児童・生徒木工作品コンクール

| | | | |
|-------------------|--|---|-------------------|
| 具体的内容 | 【概要】 網走管内の小学校による木工作品の展示会を夏休・冬休終了後に開催し、優秀賞、デザイン賞等を決定する。 | | |
| | 【実績】 平成 17 年度 262 人参加 平成 16 年度 292 人参加 | | |
| | 【取り組み始めたきっかけ・活動をはじめまでの足跡】 木のプラザでは年に数回児童を対象とした木工教室を開催しているが、より多くの子供たちが木工作品を作る機会になるものと考え、年 2 回コンクールを開催し作品を展示している。 | | |
| | 【活動・取組の特徴】 網走管内全部の小学校に案内し、沢山の作品が集まっており、元気はつらつ賞や団体賞等の各賞を贈ることにより、地域の活性化に繋がり、団体としての取組にも寄与することが見込まれる。また、物作りから子供たちの創造性を育むことが出来る取組である。 | | |
| 期待できる効果 (自己評価) | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る |
| | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる |
| | 生命と自分とのつながりに気づく | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ |
| | その他() | | その他() |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | 社団法人オホーツク森林産業振興協会 | |
| | 参加者(参集範囲) | 乳幼児 / 未就学児童 / <input checked="" type="checkbox"/> 小・中学生 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他() | |
| 参加者の募集 | | <input checked="" type="checkbox"/> あ る / な し 網走管内の小学校に直接募集 | |
| HPアドレス・連絡先(担当者) | | 社団法人オホーツク森林産業振興協会 TEL 0157-25-1331 FAX 0157-25-1332 E-mail woodplaza@owp.or.jp URL http://www.owp.or.jp | |

オホーツク児童木工作品コンクール



オホーツク木のフェスティバル「木工体験コーナー」

| | | | | |
|-----------------|--|--|------------------|-------------------|
| 具体的内容 | <p>【概要】 網走支庁では、例年5月に北見市で開催される「オホーツク『木』のフェスティバル」において、網走支庁として「木工体験コーナー」を開設し、来場された多くの方々に木に触れ、その温もり、優しさを実感していただいております。 平成17年度は地域のカラマツ・トドマツを利用した経木(きょうぎ)のカードとしおりの製作体験、木のコースター製作体験を実施しました。</p> <p>【実績】 オホーツク「木」のフェスティバルには、毎年開催期間中に5万人の来客者があり、網走支庁コーナーにもたくさんの方々にお越しいただいております。 オホーツク「木」のフェスティバルの来場者 H17 63,702人 H18 52,017人</p> <p>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】 オホーツク木のフェスティバルは管内の木工クラフト業者が主体となった木のイベントとして昭和61年より開催されております。 網走支庁としても、その趣旨に賛同し、多くの方に木の温もり、優しさを実感していただくため、平成元年から網走支庁コーナーを設置しているところです。</p> <p>【活動・取組の特徴】 来客者の誰もが気軽に木に親しめるように、簡単な木工体験を実施しています。 ・経木(きょうぎ)のカードづくり：カラマツ・エゾマツの経木に、おが粉で絵や文字を描いてカードやしおりを作る。 ・コースター製作：輪切りにしたミズナラなどの広葉樹にイラストを書いてコースターを作る。 ・パネル展示：会場には、森林・林業に関するパネル展示をしております。</p> <p>実施にあたっては、網走支庁産業振興部林務課と、網走東部西部森づくりセンターが協力して運営しています。</p> | | | |
| | 期待できる効果 (自己評価) | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る |
| | | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる |
| 生命と自分とのつながりに気づく | | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ | |
| | その他() | | その他() | |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | 北海道網走支庁 | | |
| | 参加者(参集範囲) | 乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 大人(高校生以上) / <input type="checkbox"/> 高齢者 / その他() | | |
| 参加者の募集 | あ る / <input type="checkbox"/> な し | | | |
| HPアドレス・連絡先(担当者) | 網走支庁産業振興部林務課 TEL 0152-41-0648 FAX 0152-45-0553 E-mail abashiri.rinmu10@pref.hokkaido.lg.jp URL http://www.abashiri.pref.hokkaido.lg.jp/ss/rnm/index | | | |

オホーツク木のフェスティバル

『木工体験コーナー』の様子



親子とんかち広場

| | | | | |
|-----------------|--|--|------------------|-------------------|
| 具体的内容 | <p>【概要】 弟子屈町では、弟子屈町森林組合との共催で平成14年度から毎年(H17年度未実施)「親子とんかち広場」を開催しています。 木材・廃材等を利用し、親子でさまざまなものを工作し、木とふれあい、地域の人々と交流しています。</p> <p>【実績】 平成14年度 実施日 平成14年7月28日(日) 参加者83名 平成15年度 実施日 平成15年7月27日(日) 参加者76名 平成16年度 実施日 平成16年8月1日(日) 参加者68名 平成18年度 実施日 平成18年7月30日(日) 参加者42名</p> <p>【取り組み始めたきっかけ・活動を始めるまでの足跡】 平成9年度より、釧路北部地区林業指導事務所の普及指導計画に基づく、森林・林業教育の一環として、町、森林組合、事務所の3者共催で行っていた取組を14年度より、町・森林組合が引継ぎ、「木育」の観点からもさらに継続実施を予定している。</p> <p>【活動・取組の特徴】 「親子とんかち広場」では、木材や廃材を地元業者などから提供していただき、親子一緒になって工作を行います。 製作する作品も実に様々なものがあり、取り組む姿は、真剣そのものです。また、参加者の中には、おじいちゃんたちの姿もあり、お孫さんとの工作に留まらず、他の参加者への指導もしていただき、昔からの技術を知ることができます。 参加者の中には、毎年参加される方もいて、毎年工作の技術を向上させるとともに木や森林に対する知識を高めています。 この広場は木のぬくもりや、木のおいさを体験するだけでなく、地域の人々や高齢者との交流の場にもなっています。</p> | | | |
| | 期待できる効果 (自己評価) | 五感や創造性を高める | | 森や木に関する知識をつける・高める |
| | | 協調性や社会性を育む | | 森や木を通じた地域の活性化を図る |
| | | 運動能力の発達を促す | | 木の文化や技術を伝える・つくる |
| 生命と自分とのつながりに気づく | | | つくり手・買い手・使い手をつなぐ | |
| その他() | | | その他() | |
| 取組主体 | 企画者または主催者名 | 弟子屈町(経済観光課農林水産係) 弟子屈町森林組合 | | |
| | 参加者(参集範囲) | 乳幼児 / <input type="checkbox"/> 未就学児童 / <input type="checkbox"/> 小・中学生 <input type="checkbox"/> 大人(高校生以上) / 高齢者 / その他() | | |
| 参加者の募集 | <input type="checkbox"/> あ る / な し 開催日前月の町広報誌で参加者を募集、各学校に募集呼びかけを行っています。 | | | |
| HPアドレス・連絡先(担当者) | 弟子屈町経済観光課農林水産係 TEL 015-482-2940 FAX 015-482-2696 E-mail masyuko1@masyuko.or.jp URL http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/ | | | |

親子とんかち広場

